

国産SAF安定供給体制構築の課題と方向性について

2026年8月28日

出光興産株式会社
CNX戦略部

SAF価格動向と元売のコスト低減取組

○SAF価格動向とコスト構造

- ◆ SAFの製造コストは、**原料費が一定の割合を占めており**、化石ジェット燃料が原油価格の影響を受けるのと同様に、原料価格や為替変動の影響を受けやすい構造となっている
- ◆ 製造設備については、設計仕様の最適化などを通じて建設コストの低減に取り組んでいるものの、継続的な建設コスト等の上昇を背景に、建設費には依然として強い**上昇圧力**が存在
- ◆ 石油元売に対し、設備投資補助やSAF戦略税制などの支援が講じられる一方、国内外事業者との競争を含め厳しい事業環境にあり、**各社による徹底したコスト低減の取組が不可欠な状況**

○国際競争力のあるSAF価格実現に向けた元売の取組

- **調達先・調達原料の多様化等による、原料の安定調達・低コスト化の推進**
- **基本設計段階からの設備仕様最適化によるコスト低減の追求**
- **その他のコスト低減の取組（既存アセットの最大活用、サプライチェーン最適化等）**

国内SAF投資促進に向けた議論への期待

○ 社会実装に向けた必要事項

(1) 投資判断を支える利用事業者の予見性の向上

利用事業者による**継続的なSAFの購入判断**は、大規模な製造設備の投資意思決定を支える重要な要素。官民協議会・有識者会議で議論されてきたSAFインセンティブの**支援規模・対象数量等について、制度の具体性を一層高めることで**、予見性が向上し、利用事業者の中長期SAF購入判断が促進されることを期待。

(2) 制度運用に向けた課題・検討工程の具体化

インセンティブ制度の円滑な運用には、**徴収主体や貨物分野における徴収スキームなど、制度運用に関する詳細を早期に具体化**することが重要。これら検討工程やスケジュールの明確化が望まれる。
特に、**国内ブックアンドクレーム制度**については、関係者の役割分担や実装に向けた工程の整理が必要。

- これらの事項はいずれも、国内SAF製造設備への民間投資を促進する上で重要。事業予見性を高め、民間による円滑な投資判断を促進する観点から、早期の具体化に期待

以上